

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪内
評価実施期間	2012年 9月 12日 ~ 2013年 3月16日 実地訪問調査日 2013年2月21日(木)
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 (リーダー) HF10-1-0001 八巻 芳子 (メンバー) HF10-1-0002 加藤 文雄 (報告書査読)

※ 契約日から
評価結果の確定日

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 夢の園保育園	種別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 中村 久子 園長 担当者： 井上 絢子 主任 家城 佐依 副主任 向井 絵梨香 副主任	開設年月日： 平成16年4月1日
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定員 120人
所在地： 〒 661-0981 尼崎市猪名寺2丁目4番2号	
電話番号： 06(4960)8880	FAX番号： 06(4960)8881
E-mail： yumesono@yumekoubou.or.jp	HPアドレス： http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/

3. 理念・方針等

理念

子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に行政・地域・保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援事業の核となる

方針

「子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。」

見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を、子どもなりに感じたり、愛情を沢山注がれた「人間」の、生きる力の大きさを、大切にできる保育と、人から守られるだけでなく、自立していく過程で、困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で生じる課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指す。

もっと もっと 遊んで もっと もっと 考えて 大きく 大きく 夢を ふくらませよう

(健康)	心も身体もすこやかな子ども
(人間関係)	やさしさ 思いやり 勇気などの道徳的心情を人と共有できる子ども
(環境)	色々な遊びを通して、五感を豊かにし、想像力をふくらませる子ども
(言葉)	人の話を聞いたり、喜んで自分の気持ちを表現できる子ども
(表現)	色々な経験をする中で、感動し創造できる子ども

4 特に力を入れて取り組んでいる点

- ・子どもたちにとって、温かい家庭的な園に、そして保護者にとっても学びの場となる明るく楽しい園でありたいと心掛けています。
- ・少人数担当制保育(乳児)
(少人数の子どもを担当の保育士が保育することによって、より家庭的に保育を行っています。)
- ・異年齢児交流
(異年齢児で過ごすことにより、相手に対する思いやりや、優しさを育てています。)
- ・食育やクッキング
(食育やクッキングを通して、まずは食べることを楽しみ、命の大切さを知り、生きる喜びを感じてもらえるように取り組んでいます。)
- ・地域交流(自治会・小学校等)
(地域自治会主催のおまつりや、小学校との合同避難訓練等に参加し、消防署や小学校訪問など取り入れ日頃より緊密な連携を図っています。)
- ・体操教室、音楽指導、かきかた、英語教室等
(いろんな原体験を通して、感性の豊かなそして好奇心旺盛な子どもに育ててほしいと願っています)
- ・就学前の家庭との連携
(法人独自の就学支援シートを用いて、家庭から小学校への連絡事項等保育園と連携しつつ、スムーズに小学校へ引き継ぎを行います。)

5. 利用者の状況に関する事項 (平成 25 年 1 月 1 日現在) 年齢構成

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児
1 8 名	2 4 名	2 3 名	2 6 名
4 歳児	5 歳児		合 計
2 3 名	2 9 名		1 4 3 名

6. 職員の状況に関する事項 (平成 25 年 1 月 1 日現在)

	総数	園長	主任	副主任
常勤	2 0 名	1 名	1 名	2 名
非常勤	1 2 名	0 名	0 名	0 名
	保育士	栄養士	調理師	看護師
常勤	1 2 名	2 名	1 名	1 名
非常勤	5 名	0 名	0 名	0 名
	パート保育士	パート事務員	パート用務員	
常勤	0 名	0 名	0 名	
非常勤	5 名	1 名	1 名	

7. ボランティアの受け入れ 【 子どもと関わり、育児や遊びに参加 】

- ・平成 24 年度 13 人
- ・平成 23 年度 8 人
- ・平成 22 年度 5 人

8. 実習生の受け入れ

- ・平成 24 年度 20 人
- ・平成 23 年度 38 人
- ・平成 22 年度 30 人

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

- ・送迎時での保護者様とのコミュニケーション (直接顔を見て、お話することで信頼関係を築けるよう心がけています。)
- ・連絡帳での連携 (連絡帳を通して、家庭や保育園での様子を連携しています。)
- ・お部屋懇談、個人懇談、参観日の実施 (保護者様の意向を直接伺う機会を設けています。)
- ・ふくろうポストの設置 (苦情解決体制の取り組みの一つです。)
- ・行事アンケート (行事ごとのアンケート実施し、より良い行事計画を行っています。)
- ・地域の方からアンケート (園内行事、園見学等で要望を聴取しています。)

10 評価結果

○ 総評

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- 1 温かい園を心がけ、環境作りにこころがけておられ、「豊かにのびのびと」との理念・方針は、子どもたちの事を“ストーリー”を持って語る管理者の思いが行き届いている事が、保育の現場から感じられました。

園の塀等をむやみにカラフルにせず、また園内の壁等にも園児の作品を張り巡らしたりせずに、できるだけ家庭的な雰囲気を出すよう心掛けています。

0歳児のクラスで、一人の子ども手作りで作った自動車をひいて近づいてきてくれた。箱に画用紙で飾りつけした自動車だった。買うのではなくあるもので、先生と一緒に作る自動車も、大切な宝物になると思われます。

食事の際は、バイキング方式をとっておられる。園児がトレイをもち各自の食べる分を配膳していた。年長児はそのトレイをテーブルに持っていくと、自分の前のランチョンマットに並べ替えて席についていた。家庭での食事に近い形をとるという努力の現われかと思ひます。

- 2 地域の宝物である子ども・若いお母さん、未来のお母さんの味方の保育園です。

(保護者アンケート 100%回収 たくさんの応援メッセージをいただきました)

- 3 南海トラフ巨大地震に備え、子どもの命を守るための『減災マニュアル』が出来ました
尼崎市は、地震と津波が襲来する恐れがある地域です。関西は、全般に備えが遅れがちです。

(最大震度6弱、最大津波高3.8m、1mの津波が到達する時間、90分～120分：市の推定)

市内の保育園に先駆け、子どもの命を守るため『減災マニュアル』を作成し、

保護者にはより分かりやすく簡略化したマニュアルを、いつでも閲覧できるように準備

し、隣接する小学校との共同開催で避難訓練を行い、「命の尊さ」や「生きていくことの大切さ」をしっかりと子ども、保護者に伝えています。

4 ヒヤリ・ハット活動（ハインリッヒの法則 重大1：軽微29：ヒヤリ330）が盛んで、保育士・栄養士・調理師・看護師だけでなく、子どもを巻き込んだ形で実践し、効果を上げています。

5 尼崎市には、公立保育園 29、私立保育園 54 合計 83 の保育園がありますが、その内、厚生労働省、兵庫県が推奨する基準を活用し、質の向上、評価結果の情報公開を行った保育園は、7 つの保育園（受審率 8%）だけです。

当保育園は、2009年3月に第1回めの受審・結果公開を行い、その後も継続的改善を実施し、第2回めの受審・結果公開を行った尼崎市で初めての保育園です。

○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

夢の園保育園として、2回目の第三者評価を受審することになり、また改めて保育の見直しをするきっかけとなりました。保育の見直しを行うにあたって、職員一丸となって第三者評価へ取り組んでいきました。取り組むにあたって、経験年数に関わらず様々な意見を出し合い、よりよい方向へ向かって邁進してまいりました。試行錯誤しながら、本審を受けることになりましたが、前回の第三者評価を受審した時よりも、職員一丸となって取り組むことが出来たように思います。このような機会を設けて頂き、さらに保育の見直しきっかけとなり、感謝しております。

今回で、終わってしまうことなく引き続き、日頃の保育を常に見直しを行いながら、職員一丸となって取り組んでまいります。

○ 各評価項目に係る第三者評価結果（別紙1）

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ（別紙2）

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。	
I-1-(1)-① 理念を明文化している。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

理念、方針は、ホームページ、「パンフレット」、「入園のしおり」、「園だより」等に記載されており、玄関に掲示されている事も確認しました。職員が、常に目にし、行動できるよう各クラスに常設してあるマニュアル・ファイルも確認し、数名の職員に、理解度を確かめる為、口頭でインタビュー確認を実施しました。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。	
I-2-(2)-① 計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-② 計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

平成23～25年度 中長期計画（作成23.4.1）は、園長・主任・副主任を中心に全職員の意見を取り入れながら策定されている。決定事項は、職員会議で伝達され、その議事録も確認した。また保護者には、入園時、進級説明会、毎月のおたより、日々の送迎、掲示等で、分かり易く伝えていきます。

平成24年度の事業計画は、①園田地区の待機児童削減の為に定員120%への弾力化（120人→144人）、②東南海トラフ対策の減災マニュアル作成・備蓄品の増強（食料、紙おむつ等）、③エアコンのクリーニング、④男性保育士による植栽剪定、⑤PCの新規購入等を予定し実施済み。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

管理者の責任・権限 及び 役割分担を『職務分掌』、『組織図』等にて明確にし、「保育所の役割」、「保育所の社会的責任」、「施設長の責務」を分かりやすく会議等にて職員に伝え、いつでも誰でも閲覧できるファイリングされています。「マニュアル一覧表」、児童憲章・児童福祉法等の「遵守すべき法令」も確認し、数名の職員に、身についているか否か、インタビュー確認をしました。

おはよう～またあしたね♪	みんなのだいすきなおにわ	おいしいきゅうしょく
		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等を実施している。	a

特記事項

園長は、勉強熱心で毎月、尼崎市の園長会、法人の園長会に出席し、そこで配布される大量の資料に逐一目を通され、経営環境を的確に捉えている事を確認しました。また、外部監査報告書(24年3月30日付け Y公認会計士事務所)及び その際の指摘事項に対する改善報告書(24年5月15日)も確認しました。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制を整備している。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

特記事項

年に2回（第1回6/17 参加者-保育士約100名・栄養士約50名、第2回9/23）就職説明会を実施し、採用試験時には、専門性を生かした保育が出来るように、音楽リズムやピアノの実技、絵本の読み聞かせや作文などの実技試験を取り入れています。

人事考課は、上司による評価、同僚による評価、部下による評価の3方向から評価を行うシステムが実施されています。また、就業状況は、「KING OF TIME（勤務状況管理システム 指紋認証）」にて把握し、「親睦会 バレーボール大会」等の催しを行い、職員間で、物が言いやすい環境にも配慮されています。

『実習生受け入れについて（マニュアル）』に基づき、平成24年度は、20名に対し、“保育の楽しさ”を伝えようとしている事を確認しました。

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

子どもの安全を確保する仕組み（緊急事態・事故や感染症が万一起こってしまった場合の対処方法、及び、そのような事態を未然に防止する手段）を確認しました。

特に、副主任を中心に取り組んでいる「ヒヤリ・ハット集計表」にて発生箇所、要因を分析し、子どもを巻き込んだ形で実施しているヒヤリ活動は、賞賛に値すると思います。

時期	ヒヤリ件数		ヒヤリ件数
平成23年4月	11件	平成24年4月	240件
平成23年5月	14件	平成24年5月	179件
平成23年6月	15件	平成24年6月	112件

（職員・子どもへの安全教育を進めると、みんなの感性が良くなり、一時的に件数は、多くなるが、さらに未然防止策・注意喚起・教育を進めると件数は減り始める）

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

<p>駅近くでありながら閑静な住宅街にあり、地域自治会主催の祭りに参加したり、隣接する小学校との合同避難訓練に参加し、「安全」面での対策も協力してもらえる関係にあり、とりうる限りの努力をされています。</p> <p>また日頃より、近隣の方々と緊密な連携を図っていて、ネットワークづくりを行っています。</p>
--

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
III-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
III-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
III-1-(2)-① 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
III-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
III-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
III-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

『プライバシー保護マニュアル』、『苦情解決マニュアル』、『やぎさんポスト』、苦情解決の責任者、担当者、複数の第三者委員の氏名、連絡先を確認しました。

今回（前回は2009年3月）、第2回目の第三者評価の受審にあたり、保護者アンケート用紙を114件の家庭に配布し、保育士による声掛けを丁寧に実施した結果、全件回収となりました。

（回収率100%） たくさんの応援メッセージを弊社なりに集約すると、

『 地域の宝物である子ども・若いお母さん、未来のお母さんの味方 』と分析しました。

☆ 保護者アンケート で寄せられた 応援メッセージ （一部抜粋）

- ・保護者の立場から見て、大変柔軟に対応して下さるいい園だと思います。
- ・あたたかい雰囲気で子供ものびのび楽しそうです。施設も清潔に保たれていて好感がもてます。
- ・施設が充実しており子供たちが生き生きと過ごせる環境に配慮されている。
- ・発表会など、保育行事が充実していると思います。
- ・行事など、先生方達だけで準備されて、とても感謝しています。手作り感があり心がこもっている。
- ・担任の先生以外にもみんなの名前をよく呼んでくれて親しみやすい。
学芸会がピッコロシアターであり、気合がはいつてる。とても楽しい。
- ・細かい所まで配慮があり、説明も丁寧にさせていただきます。先生方が明るく元気に接して下さるので非常に楽しく過ごせています。

[教育面]

- ・保育園というよりは幼稚園に近いところがあると思います。
食育などに力を入れているのもいい事だと思います。音楽指導、体育指導などがある。
- ・英語教室など教育への取り組みや異年齢の交流なども積極的である。
- ・英語や体操教室がある。栄養士さんが気軽に話しかけてくれるため話しやすい（相談など）。
保育士さん担任はもちろんですが、他保育士も子どもの様子をよく知っている（連携がとれている感じ）。

[食事]

- ・食事にとても気遣ってくれていると思います。アレルギーにもしっかりと対応してくれました。手作りのおやつなど子供たちはとても大好きです。
- ・給食やおやつ『食』に対する考え方がきちんとしているので、安心して子供をあずけています。園庭も割と広く安全にのびのび遊べる環境であると思います。

★ 継続的にWATCH が必要と思われる 保護者アンケートの項目

【保育園の状況】

4 子どもの事故防止や保育環境を整備するための施設の改善・補修が適切に行われていると思いますか？

→ はい78 どちらともいえない31 いいえ4 未記入1

【相談】

8 お子さんに関する悩みや不安などについて、担任保育士や園長に気軽に相談できる雰囲気・態度がありますか？

→ はい79 どちらともいえない26 いいえ9

【情報の提供】

16 子育てに関して、他の機関や団体が行っている事業や行事などについてお知らせがありますか？

→ はい76 どちらともいえない30 いいえ6 未記入2

【保育サービス】

17 散歩等で戸外にでる機会が多いですか？

→ はい80 どちらともいえない25 いいえ9

【要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします】

25 お子さんや保護者の不満やトラブルへの職員の対応は的確ですか？

→ はい82 どちらともいえない25 いいえ5 未記入2

◎ 保護者からの贈り物“改善の芽”に、2013年2月訪問時、改善が開始された事を確認しました。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

提案箱が設置されていて、職員からの提案を集めています。また、定期的実施されている会議では、次第を事前に全職員で回覧し、必要な議題を追加できるようにしています。

法人の定める方法で定期的に自己評価を行っています。子ども・保護者の意向を確かめるために「行事アンケート」や「給食アンケート」を継続的に実施しており、次年度の計画に反映しています。

職員間の情報共有は、毎月定期の職員会議、連絡会議、法人全体の横断的な会議（園長会、主任会、栄養士会、男性保育士会議等）の場で積極的に実施しています。

子ども・保護者の記録は、『個人情報保護規定』に基づき実施されており、記録の記載は、アルファベット表記する等、配慮がなされています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	

Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
---	---

特記事項

<p>ホームページの活用やパンフレット等の資料を配布したり、地域の方に見て頂けるように園のフェンスにポスターを掲示したりして、保育サービスの情報を発信しています。見学、体験利用の記録、及び「料金一覧表」、「同意書」を確認しました。</p> <p>事業所の変更、家庭への移行、小学校への進学にあたって継続性に配慮された様式（園独自）も作成されています。</p>

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

<p>「年間指導計画」、「月案」、「日案」、「保育日誌」、「児童票」、「経過記録」、「健康診断の記録」を活用し、園児一人ひとりに対してアセスメントを行い、3ヶ月毎に課題の見直しを実施しています。</p> <p>訪問調査当日の“ぱんだのへや”の日案は、こんな感じでした。(2/21 AM10～10:40)</p> <p>子どもの姿 ・戸外遊びでは寒さに負けず、存分に体を動かして楽しむ。 ・ルールのある遊びで友だちと積極的に楽しむ。</p> <p>テーマ イス取りゲームを楽しもう！！</p> <p>ねらい イス取りゲームを通して、ルールのある遊びの楽しさに気づいていけるようにする。</p> <p>設定理由 ゲームのルールをもう一度理解して友だちとコミュニケーションを取りながら楽しんで貰いたい為</p>
--

--

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかがわられるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a

特記事項

食事の際は、バイキング方式をとっておられます。園児がトレイをもち各自の食べる分を配膳していた。年長児はそのトレイをテーブルに持っていくと、自分の前のランチョンマットに並べ替えて席についていました。家庭での食事に近い形をという努力の現われかと思えます。楽しい雰囲気は、園内のそこかしこから伝わってきました。保育士と園児一緒に「どのくらいいるの」「少なめ」とやり取りしながら配膳しておられました。「今日は他人どんぶりやけど、他人ってというのはね・・・」と、メニューの説明をしながらの楽しい食事風景でした。

親子クッキングの開催では親子、保育士、調理師が参加し楽しい開催の様子を写真で確認できました。保護者も親子クッキングの開催を心待ちにしておられるとの事です。

0歳児のこりすのへやでは、一人の男の子が手作りの自動車をひいて近づいてきてくれました。箱に画用紙で飾りつけた自動車でした。買うのではなくあるもので、先生と一緒に作る自動車は、大切な宝物になると思われます。

異年齢交流では、「ちょっとグッドの日」を月に一度設定し、3歳～5歳までが二月なら鬼のお面作りをした様子が記録に残されていました。年長児が年少児に手を貸して教える場面など、楽しそうな様子その際の写真から伝わってきました。

園の夏祭りは、地元自治会、婦人会、子ども会のみなさんと共催し実施しています。

保育時間中に園で英語教室、体操教室、ピアノレッスン等のサービスを準備し、希望に合わせて利用できるようになっていきます。保護者アンケートのコメントでもありましたが、幼稚園と同等以上の教育体制も整っています。

IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

<p>一人ひとりの保護者との情報交換については、乳児は「個別連絡帳」を使用し、幼児は必要に応じて「個別連絡帳」に記載しています。送迎時には各部屋で「伝達ノート」を利用し、保護者への連絡・報告を行っています。また、年1度、個人面談を行い、また保育参観を実施しています。</p> <p>『児童虐待防止マニュアル』を作成し、会議で対応について話し合い結果を記録しています。</p>

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a

IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

<p>「衛生管理マニュアル」、「保育安全マニュアル」に基づき、継続的、組織的、体系的に日々チェックを行い、PDCA継続的改善を実施しています。</p> <p>5/23（水）尼崎市安全課の交通指導員による交通安全指導、6/14（木）不審者・侵入者対応訓練、7/11（水）自衛消防訓練等、毎月の訓練を確認しました。</p> <p>また、関西地区では、関東・中部・四国地区に比較し、南海トラフ巨大地震に対する備えが遅れ気味ですが、園長は、かねてより各種資料を取り揃え、子どもの命を守るための『減災マニュアル』を作成し、避難ビルの確保、備蓄の準備、保護者にいつでも見てもらえるようにファイル等を用意していました。</p> <p>備蓄品 : 食料品 (水、粉ミルク、お菓子、氷砂糖、アレルギー対応の簡易食料) 生活用品 (毛布、ビニールシート、哺乳瓶、紙オムツ) 避難用品 (おんぶひも、メガホン、笛、ラジオ、懐中電灯、乾電池) 救急医療品 (包帯、ガーゼ、止血帯、消毒薬、ハサミ) 防災用品 (ガス発電機、発電機用ガスボンベ、エンジンオイル、非常灯)</p>
